

2023年2月24日

軽井沢サクラソウ会議事務局

2022年11月中旬から約1か月間の署名活動にご協力いただき、ありがとうございました。  
大変遅くなりましたが、簡単な活動結果等をお知らせいたします。

<署名結果>

・署名総数 2783筆

内訳 1764筆（日本全国、沖縄から北海道まで。ヨーロッパも含む）

1019筆（軽井沢町内在住者。有権者の5.7%に当たる）

・2022年12月21日、23日（追加分）に、軽井沢町長（当時）藤巻進氏に提出。

・信濃毎日新聞に記事掲載

（12月20日：「予定地に希少植物群落 アサマフウロ 町内団体保全へ署名」）

（12月23日：「軽井沢の貴重な山野草守って 町内の保護団体町に署名提出」）

<署名提出後の経過>

・2023年1月町議会の年頭あいさつでの藤巻町長の発言「計画は予定通り進める」

・2023年1月22日 軽井沢町長選挙。

「この湿地生態系の署名を行った」と言明した土屋三千夫氏が大差で当選。

<今回のほ場整備計画の問題点>

・この「ほ場整備計画」は、農水省（6割）長野県（3割）の補助金、町予算（1割）  
総額6億6000万円の土地改良事業。

・計画決定以前に行われるべき自然環境調査を実施することなく、進められてきた。

・農地所有者の利害が入り組むことが予想されるので、予め「田園環境整備マスタープラン」を作成（専門家の調査必須）せよ、という農水省の指導があった。

・町は、自然環境調査を行わずに、2007年「軽井沢町田園環境整備マスタープラン」作成。

・2010年愛知目標第3の「自然環境に負の影響を与える補助金は廃止、又は減少させる」という目標が守られていなかった。

今後とも、ご支援のほどよろしく願いいたします。

以上